

衆議院議員
(兵庫県第6区／川西・宝塚・伊丹)

月刊 **桜井 シュウ**
さくらい しゅう

2021年4月号

三ツ星議員★★★★



立憲民主党兵庫県第6区総支部 政務活動報告

4月号

コロナ感染症は第4波。なぜ政府の対策は後手に回るのか？

緊急事態宣言解除のときから懸念されていた新型コロナウイルス感染症の第4波がやってきてしまいました。立憲民主党は、1月からの国会審議で、中途半端な段階で解除すると感染がリバウンドする、特に感染力が強い変異株の水際対策に政府が失敗したので第4波は変異株による強烈なものになる、5月の大型連休のときに再び緊急事態宣言を発令せざるをえなくなるとの懸念を示しました。そして、感染の徹底的な抑え込み政策「ゼロ・コロナ戦略」を提案しました。

しかし、大阪府の吉村知事は緊急事態宣言を2月末に前倒して解除するよう要請し、菅義偉総理大臣はその要請通り前倒して解除しました。結果は、立憲民主党が懸念した通り、感染症の第4波が到来してしまいました。

現状においても感染症患者の治療のために医師・看護師が不足しており、さらに第4波となればワクチン接種が滞るリスクがあります。だからこそ、「ゼロ・コロナ戦略」が必要です。

(→具体策は内面へ)

国政報告会&意見交換会のお知らせ (参加費 無料)

川西	4月17日(土)	14~16時	アステ川西(6階)
	4月24日(土)	14~16時	男女共同参画センター(ソリオ2)
宝塚	4月29日(木・祝)	14~16時	西谷会館
	5月8日(土)	14~16時	東公民館
	5月10日(月)	10~11時半	西公民館
伊丹	5月29日(土)	14~16時	西公民館
	6月5日(土)	14~16時	神津交流センター
	6月12日(土)	14~16時	ラストホール
	6月19日(土)	14~16時	きららホール(3階)
	6月26日(土)	14~16時	いたみホール(6階)

コロナ感染症対策 相談会

5月23日(日) 10~11時半 いたみホール(3階)

質疑応答の時間をたっぷり取りますので、質問・意見をおよせください。当日参加も大歓迎ですが、準備の都合上、事前に申込み頂けると幸いです。

(感染症対策としてマスクの着用をお願いします。また、**感染症流行状況により中止/オンラインのみ**となる場合がありますので、予めご了承下さい)

YouTubeでライブ配信します!「桜井シュウチャンネル」のご登録よろしくお願ひします。→



「withコロナ」から「ゼロ・コロナ」へ、政策を大転換せよ!

政府が進めてきた「with コロナ（社会経済と感染対策の両立）」では、これまでの間、感染抑制と感染拡大の波が何度となく繰り返され、社会経済活動の制約が長期にわたり、国民生活や経済に深刻な影響を与えています。

立憲民主党は、昨年秋から、経済的困窮世帯への支援やGoToキャンペーンの停止、緊急事態宣言の早期発令などを先手で提案してきました。しかし、菅総理は、「勝負の3週間」と言いながら、立憲民主党の提案や世論を無視してGoToキャンペーンの継続にこだわり、年末年始の感染爆発を招いてしまいました。GoToキャンペーンの小さな経済効果を求めた結果、緊急事態宣言を2ヶ月間も発令する事態となり大きな経済損失を招いてしまいました。

2回目の緊急事態宣言は、関西の2府1県では2月末で解除されました。感染症の徹底的な封じ込めがないまま、かつ変異株のリスクがある中での解除ではリバウンドのリスクがあり、そうすると命と暮らしと経済に大打撃です。

宮城県では、2月に県内独自のGoToキャンペーンを実施したところ、感染が拡大しました。立憲民主党は昨年4月の補正予算審議のときからGoToキャンペーンは感染拡大リスクがある、実施するなら感染が収束してから、と繰り返し主張しましたが、無視された結果が

感染拡大です。

だからこそ立憲民主党は、国民の皆様にも、「zero コロナ」戦略を提案します。これは感染防止対策と医療支援、そして生活者・事業者支援を集中的に展開し、感染症を短期間に十分に収束させ、その状態を継続させることで感染を封じ込め、通常に近い生活・経済活動を取り戻す戦略です。台湾やオーストラリア、ニュージーランドでは既に実施済で大きな効果をあげています。マスク不要の生活を取り戻すことも決して不可能なことではありません。

なお、「zero コロナ」戦略に対して、ウイルスを完全にゼロにすることは不可能だ、という批判をいただきます。目指すのはほぼゼロで、感染経路追跡が可能となるレベルです。このレベルならば、日常生活は支障なく過ごせます。

ワクチンが全国民にいきわたり、集団免疫を獲得するまでにはまだまだ時間がかかりそうです。また、残念ながら政府の甘い入国管理により変異株が日本国内に流入し広まっています。変異株による第4波とならないように、今の段階から感染症を封じ込めることを提案しています。

立憲民主党は、この「zero コロナ」戦略を推進し、国民生活と経済を力強く再生させてまいります。

新型コロナ感染症対策 立憲民主党等と政府の対応

		立憲民主党等	政府対応
2020年	PCR検査拡大	3/3 法案	対応不十分
	持続化給付金	3/19 提案	4/7 決定、5/27 増額
	雇用調整給付金	3/19 提案	5/26 決定
	一人10万円給付	4/1 提案	4/16 予算組換え
	事業者家賃支援給付金	4/28 法案	5/27 支給決定
	学生支援	5/11 法案	5/19 一時金、5/27 授業料免除
	特別措置法改正	12/2 法案	1/22 法案
	緊急事態宣言(2回目)	12/18 提案	1/7 発令→1/13 追加発令
2021年	コロナ医療従事者慰労金	1/18 法案	未対応
	困窮者給付金	3/1 法案	未対応
	事業者緊急支援	3/19 法案	未対応

【国会活動】総務委員会、財務金融委員会等で質疑・討論



写真：衆議院本会議での討論

通常国会の前半（1～3月）の最も重要な議案は来年度当初予算案で、連日、予算委員会が開催されます。その審議はテレビ（NHK総合）で生中継されますし、ニュースでも取り上げられます。

一方で、予算委員会の裏で財務金融委員会と総務委員会も開会され、税制改正、地方財政計画など予算に関連する審議を行っております。桜井シュウは、積極的に審議に参画しております。

「税は国家なり」と言われます。税制が人々の行動に影響を与え社会を形づくる、という意味です。したがって、我が国の社会・経済が抱える課題は何であるか、その課題を解決するために税制で何ができるのか、ということを考え、社会を良い方向に変えていくことが、国会の責務です。

コロナ禍以前からの我が国の中長期的な課題として、少子化、高齢化、人口減少、経済格差拡大、実質賃金低迷、個人消費低迷、デフレーション、男女不平等などがあげられます。これらが相互に絡んで、バブル経済崩壊以降、我が国の経済は30年に及んで停滞しつづけています。

昭和の終わりごろには、「一億総中流」と言われていた我が国社会が、今や「格差社会」「子どもの貧困」などと言われるようになってしまいました。分厚い中間層を取り戻す。経済格

桜井シュウの質疑・討論（第204回通常国会）

1月25日（月）	総務委員会
26日（火）	財務金融委員会
2月16日（火）	財務金融委員会
16日（火）	総務委員会
24日（水）	財務金融委員会
25日（木）	総務委員会
25日（木）	予算委員会第4分科会
26日（金）	財務金融委員会
3月2日（火）	財務金融委員会
2日（火）	本会議
5日（金）	財務金融委員会
4月8日（木）	総務委員会
15日（木）	総務委員会
20日（火）	財務金融委員会
21日（水）	経済産業委員会
23日（金）	財務金融委員会

差是正。これこそが、我が国が取り組むべき課題です。

なお、誤解されないように申し上げますが、頑張った人が大金持ちになる、これは素晴らしいことです。ですが、たくさん稼げるのは世の中が平和で安定しているからであり、儲かった分に応じた負担をお願いすべきです。

特に、グローバルゼーションとイノベーションによって、以前よりも経済格差が拡大しやすい状況になっています。もちろん、グローバルゼーションは世界平和のためにも進めるべきです。イノベーションは人類の幸福のために進めるべきです。ただし、それらの副作用として経済格差の拡大がある、だから経済格差を積極的に縮小させる仕組みを税制に組み込むべきです。

所得再分配機能を強化する税制として、累進制の強化、資産課税の強化、間接税（消費税）から直接税（所得税・法人税）へのシフトを提案しました。

宝塚市長選挙で山崎晴恵氏が初当選!



新市長の山崎晴恵氏

4月11日投開票で執行された宝塚市長選挙では、維新の会公認で県議会議員の門隆志氏、自民党推薦で県議会議員の森脇保仁氏らを破って、立憲民主党などが実質的に支援した弁護士山崎晴恵氏が初めての当選を果たしました。3期12年務めた中川智子市長が4期目には立候補しなかったことから、今回の市長選挙で市長が交代しました。

今回の選挙では、感染症対策、医療体制の堅持、子ども子育て・教育の推進、福祉の充実、市民参画、汚職のない政治、財政健全化などが議論されました。特に、宝塚市では、自民党県議会議員出身の渡部完市長が2006年2月に逮捕され、次の阪上善秀市長(自民党 国会議員・衆議院議員出身)が2009年2月に逮捕されました。自民党県議会議員出身の市長が二代続けて逮捕という

前代未聞の事態を受けて、2009年4月にクリーンな中川智子氏が当選した経緯があります。

山崎晴恵氏は、中川智子市長の3期12年の取組みを継承しつつ発展させることを主張しました。具体的には、宝塚市立病院のコロナ病床を拡充するなど市民の命を守ることを最優先とすること、コロナ禍において市民の暮らしを立て直すことを主張しました。そして、「街づくりは人づくりから」として子育て・教育・福祉の更なる充実を訴えました。こうした想いと政策に市民が賛同して、山崎晴恵候補の初当選となりました。

なお、2名の県議会議員が市長選挙立候補に伴い失職したことから、5月14日告示、23日投開票の日程で宝塚市選挙区において兵庫県議会議員補欠選挙が執行されます。立憲民主党は橋本なるとし氏を公認しました。

桜井周(さくらい しゅう)プロフィール

【学歴】美鈴月影幼稚園、鈴原小、南中、
県立伊丹高、京都大、京都大院修士、
ブラウン大院修士

【職歴】国際協力銀行調査役、弁理士、
伊丹市議会議員(2期)

【資格】弁理士、国会議員政策担当秘書試験合格

【家族】妻、子ども2人、犬(トイプードル♀)

三ツ星議員★★★★とは

議員立法の提案、本会議・委員会での審議、質問主意書などの国会活動を評価され、三ツ星議員として政策評価NPOに表彰されました!

発行 立憲民主党兵庫県第6区総支部長・衆議院議員

桜井 シュウ

〒664-0858 伊丹市西台2-5-11
松屋ビル2F

TEL▶072-768-9260

FAX▶072-768-9261

e-mail▶sakuraishu.office@gmail.com

URL▶http://www.sakuraishu.net/



桜井シュウの政治活動へのご協力をお願い

●ポスティング

伊丹市・宝塚市・川西市の各ご家庭に配布しております。ご近所周辺など可能な範囲・枚数だけで結構ですので、ご協力をお願い致します。

●ポスター掲示

ご自宅の塀・外壁、駐車場のフェンスなどに桜井シュウのポスターを貼って下さい。またご近所に人通りが多く、ポスターを掲示していただけたような場所がありましたらご紹介下さい。

●カンパ

一人でも多くの方に国政報告をお届けするために、カンパをお願い致します。お振込みいただく場合は、恐れ入りますが手数料のご負担をお願い致します。

(※個人献金ができるのは日本国籍を持つ方に限られます。)

■お振込先:

三井住友銀行 伊丹支店 普通4719556「桜井周後援会」
ゆうちょ銀行 00970-8-332979「周山会」

ご意見・ご相談、お気軽にご連絡下さい! ※直接書き込んでファックスでお送りください。

お名前▶

お電話番号▶

ご意見▶

CP 号外
立憲民主
The Constitutional
Democratic Party of Japan

立憲民主党
立憲民主編集部

〒102-0093
東京都千代田区
平河町2-12-4
ふじビル3F

TEL 03-6811-2301
FAX 03-6811-2302

兵庫県第6区版